

今年度は1761番からがほとんど新メンバー

紹介票は必ず出す。腕章は腕に。 グループごとにまとまって移動

今年度の登録は、1761番からが新規の登録です。勿論、昨年度登録していて切り替えが遅くなった人や、2年前、3年前に登録していた人の再登録という例もありますから、全員が新規というわけではありませんが、不慣れな仲間が多いことは確かです。(ちなみに、4月5日現在登録番号は、2440番まで。旧番で登録していないのは、今のところ950人くらい)

そこで、高齢者登録輪番就労について少し紹介しておきます。

この制度は、天然自然にできたものではありません。釜ヶ崎反失業連絡会を中心とした、多くの仲間の要求行動があってできあがったものです。行政の努力、協力もあったわけですが、それを引き出したのは、仲間の行動だったといえます。

現在の就労枠は、十分なものではありません。まだまだ多くの仲間の行動が必要です。同時に、大事に育てるという心構えも必要です。

この事業は、ただお金をばらまく仕組みではありません。社会的に役立つ仕事に参加してもらい、「賃金」を支払うというものです。

野宿を強いられるのは仕事がないからだ、仕事をよこせ、というのが原点です。不十分であれ仕事が出されているわけですから、働く場では、働き人としての振る舞いが求められます。酒気を帯びて就労することはできませんし、サンダル履きで就労もできません。長靴が用意してあります。利用してください。

野宿を長く続けている仲間も多く、体調が万全でないこともあるでしょう。限られた現金収入の機会を逃すまいと、無理を承知で就労する気持ちもよく判ります。

釜ヶ崎支援機構には、「福祉相談部門」もあります。「公衆衛生部門」もあります。大きな力は持っていませんが、病気のこと、生活保護のこと、入院・施設入所のこと、とりあえず相談してみてください。

体調不良のまま就労を重ねて、寿命をいたずらに縮めることがないように、互いに相談し、知恵を絞り、努力して、少しでも苦難を緩和する方策を獲得しましょう。

就労現場のスタッフは、単なる「現場監督」ではないつもりで仕事をしています。

せっかくできた関係を、大事にしていきたいと思えます。よろしくお付き合いを！

投票に行こう！4月13日は府会議員・市会議員の投票日

萩之茶屋投票区の投票率がものすごく悪い。こんなことでは、大阪府議会でも大阪市議会でも、熱を入れて釜ヶ崎のことを論議してもらえない、と、考えられる。

「住民票は西成に置いているのだが、ドヤだから投票できない」と思いこんでいる仲間もいる。「ドヤ住まいでは投票できない」というのは間違い。野宿や夜間宿所利用でも投票には関係ない。住民票が西成区に3ヶ月前から置いてあれば、西成で投票できる。

これまで投票に縁がなかったから、どこに行けばいいかわからないし、何となく気恥ずかしい、という人は、「不在者投票」の制度を利用しよう。

行き先は、西成区役所。地下鉄岸里駅で降りれば、すぐわかる。投票日の前日(4月12日)までの毎日、午前8時30分から午後8時まで。

住民票の住所をできる限り思い出していこう。どうしても思い出せなければ、名前、生年月日を手がかりに探してもらうことができる。

府議選立候補者(届け出順)

蒲生 健(67歳)共現・3

荒木 幹雄(47歳)民新

那波 敬方(59歳)公現・2

市議選立候補者(届け出順)

前田 修身(51歳)公現・1

村尾 政利(53歳)無新

稲垣 浩(58歳)無新

柳本 顕(29歳)自現・1

辻 淳子(50歳)自新

谷下浩一郎(60歳)共現・3

小林 道弘(44歳)民新

上に紹介したのは、立候補者だ。区役所に行けば、選挙公報紙があるはずだ。投票する前に、誰に入れるかじっくり考えて、決めておこう。字を書くことが苦手な仲間は、投票会場で係の人に書くことを依頼できる。

投票用紙1枚に一人の名前を書く。二人書いたら無効となる。府会議員の投票用紙には府議立候補者3名の中から1名を、市会議員の投票用紙には市議立候補者7名の中から1名を。漢字でなくひらがなでもよい。